

第4回平群町公共交通会議における指摘事項と対応

No.	議題	指摘事項	発言者	対応
1		今回の連携計画を実施するにあたり、空白地域はどのくらいの割合でなくなるのか。	ムラモト委員	平群町の住宅面積ベースで算出すると、空白地域の割合は現況30%に対し、バイパスルート見直し後は18%となる。
2		公共交通に関する情報提供手段として、平群町広報の活用が考えられるのではないか。	辻本委員	情報提供手段として、平群町広報も活用する。
3	連携計画(案)	連携計画においては、モビリティマネジメントの取り組みを含めて考える必要がある。	岩橋委員	連携計画においては、モビリティマネジメントの取り組みの一環として、公共交通に関する情報提供やノーマイカーデーの実施、キス&ライドの実施等を行い、公共交通への利用転換を促す。
4		バイパスルートに関しては、左廻りの一方向通行とするのではなく、右廻りや交互通行、双方向通行についても考えてもらいたい。	森井委員	バイパスルートは、左回り、右回りの交互運行等を含め、検討する。